

安曇野市公共下水道事業運営審議会 会議概要

- 1 審議会名 第3回安曇野市公共下水道事業運営審議会
- 2 日 時 平成18年12月21日 午後1時30分から午後3時まで
- 3 会 場 豊科総合支所 2階第2会議室
- 4 出席者 青嶋委員 太谷委員 中山委員 藤澤委員 丸山委員 平林委員 太月委員
加科委員
- 5 市側出席者 小松部長 大澤課長 等々力課長 相馬課長 小穴課長 嶋田課長 曾根原課長
秋山係長 二木係長 水谷副主幹 塚田副主幹 森田主査
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人 記者 1人
- 8 会議概要作成年月日 平成18年12月28日

協 議 事 項 等

1 会議の概要

- (1) 開会 (大澤課長)
- (2) 会長あいさつ
- (3) 議事

下水道使用料の適正化について

- ① 長野県内の繰入金について
- ② 長野県内合併市における下水道料金について
- ③ 料金改定シミュレーションについて

- (4) 閉会 (会長)

2 審議概要

- ① 長野県内の繰入金について
- ② 長野県内合併市における下水道料金について
- ③ 料金改定シミュレーションについて

事務局：資料により説明

委員 事務局より説明がありました。各項目につき質疑をお願いします。

委員 基準外繰入金の多い県内他市では、値上げを予定していますか。

事務局 既に合併を機に料金改定を行った市もあります。その殆どが値上げ改定です。松本市のように下水道整備を先行して行った市は別として、他の市町村は10年位前から下水道整備を進めてきており、当市と似た財政状況になると思います。

委員 料金改定の方法について議論してはいかがか、事務局の意見は。

事務局 料金値上若しくは一般会計繰入の二者択一ですが、一般会計も厳しい財政状況にあり料金改定により収入増を図りたい。

委員 資料によると当市は極端に悪いほうではないと思う。

事務局 現段階では受益者負担金収入が多いが、下水道整備も終盤に達しており負担金は減少傾向です。そのため、それに見合った財源が必要です。

委員 アクアピアの使用料金が値下げとなるのに、使用料の値上げというのは相反する事態だが、未来に負担を残さないことが必要であり、その為の料金改定だと思う。

事務局 起債残高も400億を超え償還額も現在は20億あり、それが10年後には30億弱になる。これを、使用料で賄わなくてははいけません。税の投入と使用料とバランスを考える必要があります。

協 議 事 項 等

委員 資料を見ると、ある程度の料金改定は必要だと思う。2つの案があるが将来的には料金統一をしなければならず、その方針を出す必要がある。市の財政を考えると安易に税の投入を考えるべきではない。料金統一が必要だが性急には出来ない。段階的統一が良いのではないか。

委員 合併後間もないので地域差は必要だ。

委員 下水道は利用者負担が原則なので税の投入は控えるべきだ。料金統一は必要だが、現在経営状況の良い地区において、一番値上げ幅が大きくなるのは好ましくない。今回は統一せずに、私共の任期中に統一への方針を出せばよいのでは。

委員 豊科地区は、合併後値上げが多い。値上げは仕方ないが、段階的ではいかがか。

委員 豊科地区だけ違う料金体系はいかがなものか。豊科だけが我俣を言っていると思われるのは心外だ。別の試算を行って欲しい。

事務局 現行料金は三郷・堀金は同一、穂高は過去に値上げを行う前は同一でした。明科は異なる料金体系ですが、単体では財政的な均衡が取れておらず、大幅な値上げが必要です。料金統一に向けて他地域の料金と揃えました。結果、豊科とそれ以外という料金体系になりました。

委員 維持管理費さえ賄えない料金体系を作ったことが問題だ。公的資金をなるべく投入しないという、税の使い方の公平から言えば、最初の料金設定に問題があった。

事務局 現状の各地区単位で維持管理費を賄えという料金統一になりません。合併により市全体が1つの単位となったのですから全体で収支均衡を図りたい。ただ、現状は合併後間もないので、地域差を残すことを考えています。

委員 一気に統一すると抵抗はある。段階的に行わなくてはいけない。

委員 1案と2案の説明を再度お願いします。

事務局 市内全域の料金統一が1案、2案は比較的料金体系に近い所を統一するものです。

委員 各地区の統一料金と現行料金の差は？

事務局 1案で豊科12.4%穂高6.5%三郷10%堀金9.6%明科15.8%、2案で豊科11.1%穂高8.3%三郷11.7%堀金11.4%明科17.3%です。

事務局 平均的な使用水量でみますと、豊科の場合、現行4,725円が第1案で5,617円となり差は900円位になります。第2案で5,512円ですから800円位です。

委員 ありがとうございます。

委員 料金改定については将来に負担を残さないためにも仕方がない、というのが皆さんのご意見だと思う。あとは料金統一と値上げ幅の問題を議論したい。

委員 自分の周りでも値上げはやむをえないというのが大方のご意見です。ただ、値上げ幅をいかに抑えるかということに尽きると思う。

委員 市の方針として統一に関して、時期的な方針はあるのか。

事務局 現在のところ、統一の期限はありません。合併協議会の時に、当面は現行でということは、その期間を5年位と考えておりました。

事務局 統一しなければいけない料金で残っているのは、上下水道の料金だけというのが現状です。税等は法律で決まっておりますので、合併と同時に統一されたという経過があります。

委員 上水道審議会の審議はどのようになっていますか。

事務局 上水道は内容的には、下水道とは若干違っております。現況では、穂高地区の料金値上げが主題となっております。

委員 10%程度の値上げの根拠は。

事務局 基準外繰入の何割を使用者にご負担していただくかということで、現在6割程度ですのでこれを3年スパンで1割程度ずつ上げて行きたいと言う事です。

事務局 大都市のように効率の良い整備が難しく、水道のように独立採算での事業運営は不可能です。工事費も水道では当初、住民の方にご協力いただいて安く抑えたということもあり、同じ企業会計ということで論じられないところがあります。

委員 主婦としては確かに値上げしてもらっては困るという意見はある。しかし、将来に負担を残さないということで考えれば値上げは仕方が無いのでは。

協 議 事 項 等

- 委員 料金改定の住民への周知にはある程度の期間が必要
- 委員 合併特例債で料金引き下げは可能か。
- 事務局 合併特例債にはそういうものはありません。
- 委員 穂高地区の使用料収入が豊科に比べて少ないのは何故か。人口は豊科より多いはずだ。
- 事務局 中心市街地は接続率が高く、周辺の農村部の接続率はそれほど伸びないということがあります。
- 事務局 穂高地区では、ここ10年位の住宅開発地には既に合併処理浄化槽が設けてあり、水洗化されている場所が多いです。
- 委員 補助金を交付して合併浄化槽整備を行った地区で、公共下水道の整備区域となっているところもあり、どうしても接続率が悪くなるという面がある。
- 事務局 去年辺りから国が方針転換し、最も効率の良い事業をやりなさいということになりました。公共下水道・農業集落排水事業それから合併浄化槽、この3つを組み合わせ、その地域で採算性の良いものを行うように。もう少しこの方針転換が早ければ安曇野市の状況も違ったと思います。
- 委員 使用料収入をいかに高めるか、ということが問題だ。経営状況の良いところに寄りかかるのは非常に良くない、改善を求めたい。
- 事務局 豊科と穂高の人口規模は同程度だが、豊科は大口需要化が多い。
- 委員 それは理解出来るが、ぜひもう少し接続率を高めて欲しい。
- 事務局 はい。
- 事務局 来年度は市の機構改革により人員配置も替わるので普及促進担当を設け先進自治体を参考にし、普及促進を図りたい。
- 委員 他の地域も、使用料で維持管理費は賄えるように力を入れて欲しい。維持管理費も賄えない使用料金ではどうにもならない。ご意見をまとめると、料金改定については一定の金額は吝かでない、仕方が無いということ。料金統一については少し様子を見ようということでしょうか。市長から3月議会でご意見を諮りたいとの要望もある。事務局の見解は。
- 事務局 今回の審議会でご意見が集約できたと思いますので、10%程度の料金改定で原案をお作りして次回ご審議いただき、その後、答申をいただければと思います。
- 委員 次回に答申案を議論し、次次回に答申したい。2月頃の答申だと思うがどうでしょうか。
- 委員 私は良いと思います。
- 委員 3月議会に諮っても、料金改定後の料金を徴収するのはもう少し先になる。
- 事務局 早くても3ヶ月は周知機関に必要だと思いますので、早くても7月、場合によってはもう少し遅れることもあるかと思いますが。私共としてはこういう財政状況ですので一刻も早く答申いただければと思います。
- 委員 では、この次にご議論いただくということで今日の会議を閉じたいと思います。
- 事務局 今回は料金統一を見送り、今後、ご議論いただくこととし、段階的に統一を図るということで、原案は2案を元にとということでよろしいでしょうか。
- 委員 2案で。
- 委員 次回に統一。
- 事務局 では第2案を元に精査し、原案作成したいと思います。
- 委員 次回原案が提出されるので、それに沿ってご議論したいと思います。
- 委員 次回は1月25日（木）午後1時30分より。会議を閉じます。

